



## タカ派むき出し高市内閣 労働者にとって百害あって一利なし！

### 労働時間規制緩和反対！

自民党総裁就任挨拶で「働いて、働いて、働く」と言った高市早苗首相は、上野賢一郎厚生労働相に対して労働時間規制の緩和検討を指示しました。「働き方改革」ならぬ「働きたい改革」だそうです。

「働き方改革」では、残業時間の上限を月45時間、年間360時間とし、労使合意があれば月100時間未満または複数月平均で月80時間以内、年間720時間と定められています。これをどこまで「緩和」しようと言うのでしょうか。現在の労働時間でさえ過労死のデッドラインと言われているにもかかわらず、再び資本側の言い分を取り入れて労働者の搾取に乗り出そうとしています。

厚労省発表では「就業時間を増やしたい」人は就業者全体の6.4%、上限規制の月80時間を超えて働きたい人は0.1%。残業時間を「増やしたい」人より「減らしたい」人が多いのです。労働時間延長ではなく、安全で安心して働ける労働環境と、賃金の大幅アップが今こそ求められています。政府は、この実現に向けて「働く」べきです。

### 防衛費増額のための安保関連三文書改定反対！

高市首相は、政府が2022年末に策定した国家安全保障戦略など安保関連3文書改定に向けて動き出しました。これは、2022年策定の「安保三文書」で「防衛費を2027年度に関連経費と合わせて国内総生産（GDP）比2%とする」とした目標の前倒しと、増額をしようとしているのです。

今月予定されているトランプ米大統領との会談で、日本の防衛指針を報告し、防衛費増額圧力を強める米政権に対して積極協力の姿勢を示すためです。

アメリカにスリ寄り日本の財産を差し出すのではなく、労働者・大衆のための政府財政支出が求められているのです。